

令和 8 年度第 2 回大学等の質保証人材育成セミナー

教育改善を「動かす」情報設計 ー教育改善情報のつくり方・流し方・使い方ー

大学改革支援・学位授与機構

1. はじめに

大学における内部質保証では、教育プログラムが掲げる目標と、学生が実際に何を学び、どのような課題が生じているのかを照らし合わせ、必要な改善につなげていくことが求められます。しかし、データや方針が存在するだけでは、教育は自動的に改善しません。集めた情報が「報告のための資料」にとどまったり、FD が単発の研修で終わったりすれば、授業、教育プログラム、全学の各層をつなぐ改善の循環は生まれにくいからです。

当機構では、本年度、「知る・議論する・実践する」という流れで、質保証に関する 3 つの機会を連続して開催します。9 月 16 日の第 1 回大学等の質保証人材育成セミナーでは、英国 2 大学の実践等をもとに、質保証を「動かす」ために必要な機能を整理します。10 月 1 日の大学質保証フォーラムでは、英国・フランス及び日本の関係者と、「何を評価するのか」「何のために評価するのか」という大学評価・質保証の今後を議論します。

第 2 回となる本セミナーでは、これらの議論を日本の大学における具体的な実践へつなげます。焦点とするのは、教育改善に必要な情報の「つくり方・流し方・使い方」です。

重要なのは、現場の教職員が目標と現状との差を自分たちの教育上の課題として捉え、改善の必要性を共有し、行動に移せることです。そのためには、現場でどのような議論をしてもらうために、どのような情報をつくるのか、その情報をどのタイミングでどのような形で届けるのか、それがどのような対話と意思決定を促し、その後の改善へとつながるのかを考える必要があります。いわば、教育改善情報の「ロジスティクス」を整えることが、内部質保証を実質的に機能させる鍵となるのではないのでしょうか。

前半の講義編では、教育改善を「動かす」情報設計を 2 つの大学の事例から学びます。後半の演習編では、参加者が自大学の現状を題材に、どのような情報を、誰に、どのように届けられれば教育改善につながるのかを整理し、自大学における情報の流れと対話の場を設計します。

2. 今回のセミナーの達成目標

本セミナーを通じて、参加者が次のことをできるようになることを目指します。

- 1) 教育目標、データ・情報、対話、意思決定、改善、フォローアップのつながりを、教育改善を「動かす」情報設計の観点から説明できる。
- 2) IR、FD・SD、カリキュラムマネジメントを連動させている大学の実践を、教育改善情報の「つくり方・流し方・使い方」の観点から捉えることができる。
- 3) 自大学における教育改善情報と意思決定の流れを可視化し、改善につながりにくい箇所やその要因を整理できる。
- 4) 自大学の制度・組織文化に即して、教育改善情報のつくり方・流し方・使い方を改善する取組を一つ以上構想できる。

※ 演習編まで参加することで、3)、4)の目標について具体的な検討を深めます。講義編のみでも、各目標に関する基本的な内容を扱います。

3. 開催日時・会場

日 時：令和 8 年 10 月 7 日（水）講義編 13:00～14:50 演習編 15:00～16:30

形 式：演習編に参加いただく方は対面、講義編のみご参加の方はオンラインとなります。

会 場：大学改革支援・学位授与機構 竹橋オフィス 1012 会議室
（東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター10 階）

4. 対象者

高等教育機関の評価担当者、IR・FD・SD 担当者、教育改善やカリキュラムマネジメントに関わる教職員、認証評価機関関係者、その他テーマに関心を有する方

なお、対面参加は以下の方を対象とします。

- 自大学の内部質保証、IR、FD・SD、自己点検・評価、教育改善等の運用に実務として関わっている方
 - 事前にワークシートを作成し、自大学の取組や課題を参加者間で具体的に共有・検討できる方
 - 当日はワークシートに記入した内容を短時間で説明するとともに、他の参加者との意見交換に主体的に参加できる方
- ※ 演習編は、自大学の具体的な実践を持ち寄り、相互に検討することを重視しますので、見学や一般的な情報収集を主目的とする方ではなく、自大学の実践を題材に検討を深めたい方を対象とします。

5. 募集人数

オンライン参加：500 名

対面参加：15 名程度

※ 対面参加は、申込み開始から 1 週間（9/16 まで）は 1 大学 1 名の申込みとさせていただきます。

6. 参加費

無料

7. プログラム

13:00～13:05 趣旨説明 本セミナーのねらいと進め方について概説します。

<講義編>

13:05～14:20 事例報告 教育改善を「動かす」情報設計— IR・FD・カリキュラムマネジメントの実践 —

「学修成果の可視化を教育改善につなぐカリキュラムマネジメント」（35 分程度）

榎原 暢久 芝浦工業大学 学長補佐 教育イノベーション推進センター長・教授

芝浦工業大学では、教育イノベーション推進センターに FD・SD、IR、カリキュラムマネジメント等の部門を置き、教職学協働で全学的な教育改善や内部質保証を支援しています。カリキュラムマネジメント部門では、学修・教育到達目標（mDP）と全科目の対応、主要授業科目の設

定、各授業の到達目標や評価方法と mDP との整合性確認、学修成果の可視化等を基盤として、内部質保証の実質化が担保されるよう支援しています。

本報告では、これらの設計と整合性整備の進め方に加え、可視化情報を改善に活用する場や、運用上の工夫・課題を可能な範囲で共有いただきます。

「データを活用した組織的な FD と教育改善 ― 学生の学びを支える組織的な取組 ―」（35 分程度）
渡辺 雄貴 東京理科大学 教育支援機構 教育 DX 推進センター長
(理学部第一部 科学コミュニケーション学科 教授)

東京理科大学教育支援機構教育 DX 推進センターでは、学生の学びを支援し教育の質を継続的に向上させるため、全学的な FD 活動・教育 DX・教学 IR を推進し、各学部・学科と連携しながら組織的な教育改善に取り組んでいます。学修成果や学生の学修状況に関するさまざまなデータを収集・可視化し、その結果を全学・学部・学科の各レベルで共有するとともに、データを起点とした対話や検証を通じて、具体的な教育改善や学生の学びの支援へとつなげています。

本報告ではこうした取組をもとに、学修成果の可視化を組織的な教育改善や学生の学びの支援へとつなげる仕組みについて、具体的な事例を交えながら紹介します。

14:20～14:30 小休憩・質問紙記入

14:30～14:50 質疑応答

※ 質疑の状況により 15:00 まで延長する場合があります。

<演習編> ※対面のみ

15:00～16:30 演習「自大学における教育改善情報の流通設計を考える」

参加者は、事前に配付するワークシートを用いて、自大学で実際に取り組んでいる、または改善したい教育上の課題を題材に、教育改善に必要な情報と意思決定の流れを整理します。どのような情報が、誰によってつくられ、どのように共有・解釈され、対話や意思決定を経て改善につながっているのかを具体的に振り返り、現在比較的うまく機能している点や、改善を妨げているボトルネックを検討します。

当日は、各グループに講義編の講師等をファシリテーターとして配置し、参加者が自大学の状況を共有したうえで、参加者間で質問・意見交換を行います。講義編で紹介された大学の実践や、第 1 回セミナーで扱った質保証・質向上を「動かす」ための視点も必要に応じて参考にしながら、自大学の制度・組織文化の中で、教育改善をより動かしやすくするための工夫を考えます。最後に、各グループで得られた気づきや工夫を全体で共有し、自大学で今後試してみたい具体的な改善のヒントを持ち帰っていただくことを目指します。

○ 演習編に参加される方へのお願い

ワークシートは 9 月 25 日（金）までに大学質保証ポータルに掲載します。自大学で取り組んでいる、または改善したい教育上の課題について、現在どのような情報を用い、誰がどのように判断・改善しているのかを、共有可能な範囲で整理したうえでご参加ください。

<https://niadqe.jp/event/8043/>（大学質保証ポータル）

8. 申込み方法・期間

申込み開始 : 令和8年 9月 9日 (水) 13:00 開始予定

対面参加締切 : 令和8年 9月 30日 (水) 17:00 (定員に達した場合は早期に締め切ります。)

オンライン参加締切 : 令和8年 10月 2日 (金) 17:00

申込みは、当機構「大学質保証ポータル」の開催案内ページから受け付けます。

9. その他のご案内

- 資料、オンライン会議の接続先は、10月5日(月)までに申込者へ電子メールでご案内します。
メールが届かない場合は、セミナー開催前日までに下記【問い合わせ先】までご連絡ください。
当日の朝は返信できない場合がございます。
- 広報・事業報告のため会場の写真を撮影し、大学質保証ポータル等で公表する場合があります。
人物が写り込む場合は、個人が特定されないよう留意します。
- 講義編については、後日、大学質保証ポータルでの動画及び資料の公開を検討しています。

【問い合わせ先】

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 評価事業部 企画調整課 総務企画係

E-mail : hyokikaku2@niad.ac.jp

関連イベント：知る・議論する・実践する——3つの機会を連続開催

当機構では、質保証に関連するフォーラム、セミナーを9月及び10月に開催します。

- 9月16日(水) 令和8年度第1回大学等の質保証人材育成セミナー
英仏の制度と英国2大学の実践から、質保証を「動かす」仕組みとフォーラムの主要論点を整理します。
開催案内 : <https://niadqe.jp/event/7999/>
申込み締切 : 9月11日(金) 17:00
- 10月1日(木) 令和8年度大学質保証フォーラム
英国・フランス及び日本の関係者と、大学評価・質保証の今後を議論します。
大学質保証フォーラムウェブサイト :
<https://www.niad.ac.jp/consolidation/international/forum/>
申込み締切 : 9月25日(金) 17:00
- 10月7日(水) 令和8年度第2回大学等の質保証人材育成セミナー
教育改善を「動かす」情報設計と大学の実践事例を取り上げ、自大学での具体的な改善方策を考えます。